

令和4年度の白井市第3次環境基本 計画の進捗状況について（報告）

白井市市民環境経済部環境課

目次

- 1 白井市の環境施策について
- 2 令和4年度の白井市第3次環境基本計画の進捗状況について

1 白井市の環境施策について

・白井市の環境行政の取組は、平成7（1995）年度を環境元年と位置づけ、平成8（1996）年10月に「環境都市宣言」を行い、内外に環境保全の必要性を明らかにしてきました。

・その後、市は、事業所として自らも環境に多くの負荷を与えていることを自覚し、率先して環境保全活動に取り組み、平成9（1997）年5月にISO14001の取得に向け取り組み、平成10（1998）年1月30日に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。

・取得後、更新審査、維持審査を受け、12年間認証登録を継続し、「地球温暖化防止」と「環境への負荷の少ない持続的に発展できる社会づくり」を目指し、地球温暖化防止対策に早くから取り組みできました。

・また、市の環境の保全について、基本理念を定め、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、市民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とした、「白井市環境基本条例」を平成12（2000）年に制定し、平成14（2002）年に白井市環境基本計画を策定しました。

・これまでのISO14001の取組により、市の事業活動から発生する環境への負荷の抑制に努める意識も定着し、取り組みによる成果も着実に上がっていることから、平成22（2010）年1月29日をもってISOの認証登録を返上し、その後は、今までの取組を継承して、地球温暖化対策の推進に関する法律に定められている「地方公共団体の責務」として、地球温暖化対策を積極的に推進する「白井市地球温暖化防止対策実行計画」において、環境基本計画と併せて市の環境施策に取り組みんでいます。

【環境都市宣言】

自然を愛し調和とうるおいのあるまちづくりをめざし

- ・ 私たちは、美しい自然に囲まれ、うるおいとやすらぎのあるまちに住みたいと願う。
- ・ 白井市は、千葉ニュータウンの開発等により、首都近郊の住宅都市として急激に発展してきました。
- ・ 一方では、生活様式の変化に伴い、大気汚染、水質汚濁、ゴミの増大など日常生活に起因する環境問題も深刻となっています。
- ・ 今後、地球環境を一人ひとりが責任をもって保全していくために「市民」・「事業者」・「行政」が、一体となって地域での活動をすることが求められています。
- ・ 本市の豊かな自然・良好な環境を貴重な財産として、未来に引き継いでいく重要性を認識しなければなりません。
- ・ このため、白井市民の総意として、自然を愛し調和とうるおいのあるまちづくりをめざし、ここに「環境都市」を宣言します。

平成8（1996）年10月6日

【白井市の都市宣言】

交通安全都市宣言・平和都市宣言・生涯学習都市宣言・環境都市宣言・健康文化都市宣言
(S58.11.26) (S62.3.13) (H5.10.16) (H8.10.6) (H12.9.17)

【計画の策定状況】

○環境基本計画

- ①平成14（2002）年度から平成23（2011）年度（計画期間10年） 白井市環境基本計画
- ②平成24（2012）年度から令和3（2021）年度（計画期間10年） 白井市第2次環境基本計画

※平成27（2015）年度に中間見直しを実施

- ③令和4（2022）年度から令和12（2030）年度（計画期間9年） 白井市第3次環境基本計画

○温暖化対策実行計画（事務事業編）

- ①平成17（2005）年度から平成18（2006）年度（計画期間2年）

白井市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

- ②平成19（2007）年度から平成21（2009）年度（計画期間3年）

白井市第2次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

- ③平成22（2010）年度から平成26（2014）年度（計画期間5年）

白井市第3次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

- ④平成27（2015）年度から令和3（2021）年度（計画期間7年）

白井市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

- ⑤令和4（2022）年度から令和12（2030）年度（計画期間9年）

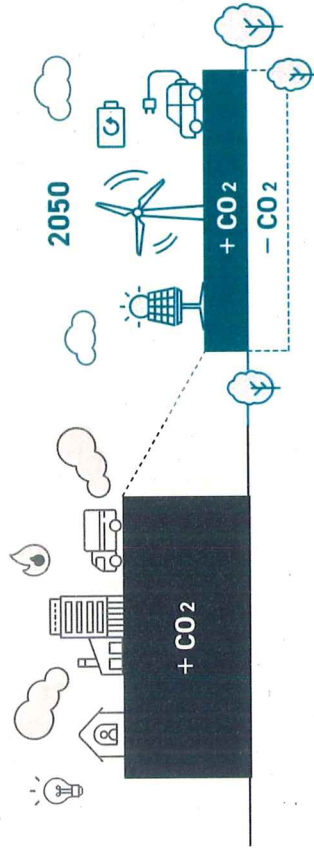
白井市第5次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

脱炭素化への取組

「2050年 ゼロカーボンシティ表明」

- ・白井市は、令和4年第1回白井市議会定例会において、令和4（2022）年2月16日の一般質問の際に、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けてチャレンジしていくことを表明しました。
- ・2050年を見据え、現在、令和4（2022）年度から令和12（2030）年度にかけて、白井市第5次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に取り組んでいます。

※2030年までに46%削減、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します。



図出典：環境省ホームページ
(https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/about/)



千葉県白井市長 笠井 喜久雄 殿

貴市におかれましては、この度、地方公共団体として2050年の温室効果ガスの排出量実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）を口指すことを表明されました。

今回の貴市の表明をもちまして、ゼロカーボンシティは国内で507地方公共団体となりました。我が国としての2050年カーボンニュートラルの実現に向け、大変心強く感じております。

近年、国内各地で大規模な災害が多発しているところですが、地球温暖化の進行に伴い、今後、気象災害の更なる頻発化・激甚化などが予測されており、こうした私たちの生存基盤を揺るがす「気候危機」とも言われている気候変動問題に対処するため、2050年カーボンニュートラルの実現を目指す必要があります。

現在、政府としては、2050年カーボンニュートラルや2030年度46パーセント排出削減目標の達成に向け、再生可能エネルギーの最大限の導入などを掲げ、我が国の成長戦略の柱の一つとして取り組んでいます。

環境省としても、脱炭素社会、循環経済、分岐型社会への3つの移行を推進し、今までの延長線上ではない、社会全体の行動変容を図ってまいります。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、今後30年間のうち、とりわけこの5年間、10年間の重要性です。このため、地城脱炭素ロードマップに基づき、脱炭素先行地域づくりや、脱炭素の基盤となる重点対策の全国実施を進めていく必要があります。貴市及び他のゼロカーボンシティと連携しながら、地城脱炭素の更なる具体化・加速化を進めてまいります。

環境大臣 山口 壯

2 令和4年度の白井市第3次環境基本計画の進捗状況について

・白井市第3次環境基本計画は、計画策定時（令和2（2020）年度時点）の現状や市民・事業者・子ども向けアンケート調査、地区意見交換会などの市民参加を踏まえた上で策定し、市の環境政策の基本的な指針を示す普遍的な「基本理念」（計画書P13参照）に基づいて計画を推進します。

・また、市の目指す姿を共有し、計画の着実な推進につなげていくため、基本理念を踏まえた上、新たに環境の将来像「良好な環境を未来につなぐ 持続可能なまち」を設定し、市民・市民団体・事業者・行政の連携・協働により計画を推進し、良好な環境を未来につなぎ、市民が住み続けられる持続可能なまちを目指します。

・第3次計画では、5つの「基本目標」を設定し、SDGsで定められている17のゴールの内、関連性の高いゴールと整理することで、併せて各施策に取り組みます。

基本目標1 自然環境 豊かな自然と人が共生するまち

基本目標2 地球環境 地球温暖化対策に取り組み、気候変動に備えるまち

基本目標3 生活環境 安全・安心を維持し、快適に住み続けられるまち

基本目標4 資源循環 ごみを減らし、資源の循環に取り組むまち

基本目標5 環境保全 環境にやさしいライフスタイルを広げるまち



白井市第3次環境基本計画のP16・17で施策（達成目標）を整理

環境の
将来像

基本目標①

施策の方向

施策

達成目標

基本目標1

自然環境
豊かな自然と人が共生するまち

①里山環境の保全

②生物多様性の保全

③まちのまどりの保全・創出

- (1) 森林の適切な保全の推進
(2) 里山の活用と保全
(3) みどりのネットワークづくり
(4) 水辺が持つ多面的機能の活用
(5) 農商工の連携による六次産業化の促進
(6) 農に親しめる環境づくり
(1) 生物多様性の保全
(2) 鳥獣被害・外来種対策
(1) 公園・緑地の整備
(2) 身近なみどりの創出

指標	現状値	目標値
森のグラウンドワーク活動への参加者数	60人 (平成31年度)	80人 (令和7年度)
耕地面積	1,040ha (令和2年度)	1,060ha (令和7年度)
自然保護活動に取り組む市民の割合	1.8% (平成31年度)	2.3% (令和7年度)
市民1人当たり公園面積	9.48㎡ (令和2年度)	9.5㎡ (令和7年度)

基本目標2

地球環境
地球温暖化対策に取り組み、気候変動に備えるまち

地球温暖化対策実行計画（区域地球温暖化対策）
地域気候変動適応計画

①再生可能エネルギーの普及拡大

②省エネルギーの促進

③交通対策による脱炭素化の推進

④脱炭素型まちづくりの推進

⑤気候変動への適応の実践

- (1) 再生可能エネルギー機器等の導入促進
(2) 脱炭素な電力利用の促進
(1) 省エネルギー機器等の導入促進
(2) 省エネルギー活動の普及促進
(1) 公共交通利用の促進
(2) 次世代自動車の普及拡大
(3) 自転車交通環境の整備
(1) 脱炭素建築物の普及拡大
(2) 公共施設等の省エネ等の推進
(1) 雨水を溜めまわすまちづくり
(2) 熱中症予防や感染症予防の推進
(3) 農業・生態系への影響の防止

指標	現状値	目標値
市内の温室効果ガス排出量（産業部門以外）の総量	283,737t-CO ₂ (平成25年度)	152,039t-CO ₂ (令和12年度)
市内の温室効果ガス排出量（産業部門）	495,231t-CO ₂ (平成25年度)	444,521t-CO ₂ (令和12年度)
市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合	0.5% (平成31年度)	7.0% (令和12年度)
市内の再生可能エネルギー導入量	25,874kW (令和2年度)	47,003kW (令和12年度)
気候変動のリスクに備えている人の割合	73.3% (平成31年度)	90% (令和12年度)

基本目標3

生活環境
安全・安心を維持し、快適に住み続けられるまち

①健康・快適な環境の保全

②美しいまちづくりの推進

- (1) 大気汚染、水質汚濁、騒音・振動の防止
(2) その他の公害の防止
(1) 白井の個性を活かした良好な景観形成
(2) まちの美化対策
(3) 不法投棄の防止
(4) 白井市の歴史的・文化的環境の保全

指標	現状値	目標値
大気環境（二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、ダイオキシン類）に関する環境基準の達成割合（%）	75% (令和2年度)	現状値より増加 (令和12年度)
水環境（神崎川、金山溪、下手野沼）に関する環境基準の達成割合（%）	67% (令和2年度)	現状値より増加 (令和12年度)
騒音（航空機騒音）に関する環境基準の達成割合（%）	100% (令和2年度)	現状維持 (令和12年度)
国・県・市指定文化財合計数	48件 (令和2年度)	48件 (令和12年度)
不法投棄された可燃・不燃・粗大ごみの重量	666トン (令和2年度)	現状値より減少 (令和12年度)
ごみゼロ運動の参加者数（累計）	3,887人 (平成31年度)	5,000人 (令和12年度)

基本目標4

資源循環
ごみを減らし、資源の循環に取り組みまち

①ごみ減量の推進

②ごみの資源化の推進

- (1) リデュース（発生抑制）の推進
(2) リユース（再使用）の推進
(1) リサイクル（再生利用）の推進
(1) 環境教育・環境学習の推進
(2) 環境活動を牽引するリーダー育成・活動の場創出
(1) 市民・環境団体・事業者との連携
(2) 国・千葉県、他自治体との連携
(3) 環境団体の環境保全活動の促進
(1) 環境ビジネスの創出支援・育成
(2) 環境マネジメントシステムの構築支援

指標	現状値	目標値
家庭系一般廃棄物の一日当たり排出量	517g/人日 (令和2年度)	418g/人日 (令和12年度)
一般廃棄物の資源化率	15.6% (令和2年度)	17.8%以上 (令和12年度)

基本目標5

環境保全
環境にやさしいライフスタイルを広げるまち

①環境保全活動を実践するひとづくり

②連携・協働の仕組みづくり

③環境ビジネスの推進

- 市の環境関連イベント・講座等への年間延べ参加・受講者数
市内の環境関係活動団体数
市民団体との協働による環境保全活動数

指標	現状値	目標値
市の環境関連イベント・講座等への年間延べ参加・受講者数	720人 (平成31年度)	800人 (令和12年度)
市内の環境関係活動団体数	56団体 (平成31年度)	62団体 (令和7年度)
市民団体との協働による環境保全活動数	-	30回 (令和7年度)

良好な環境を未来につなぐ 持続可能なまち

計画初年度（令和4年度）の進捗状況について（評価基準）

白井市第3次環境基本計画 評価基準
(第2次計画時と同様)

表 1 環境指標の評価の基準

環境指標	指標評価
環境指標の実績値が参考線を上回っている（達成している）場合、順調に進捗していると評価する。	A
環境指標の実績値が参考線を下回って（達成して）いないが、参考値から 20% 以上乖離していない場合、概ね順調に進捗していると評価する。	B
環境指標の実績値が参考線を下回っており（達成しておらず）、かつ参考値から 20% 以上乖離している場合、進捗が芳しくない と評価する。	C
その他・評価対象外（指標・目標が未設定、データ不足等）	-

表 2 環境指標が複数の場合の評価の例

環境指標	指標評価	点数化の方法	点数化	指標全体の評価方法	指標全体の評価
△△△の件数	A	A 評価 ⇒ 3 点	3	2.4 ≤ 平均値 ⇒ A	(1+2+3)/3=2.0 ⇒ B
□□□の場所の数	B	B 評価 ⇒ 2 点	2	1.7 ≤ 平均値 < 2.4 ⇒ B	
〇〇〇の値	C	C 評価 ⇒ 1 点	1	平均値 < 1.7 ⇒ C	

基本目標1：森のグラウンドワーク活動の参加者数

■基本条件

指標項目	人
森のグラウンドワーク活動の参加者数	

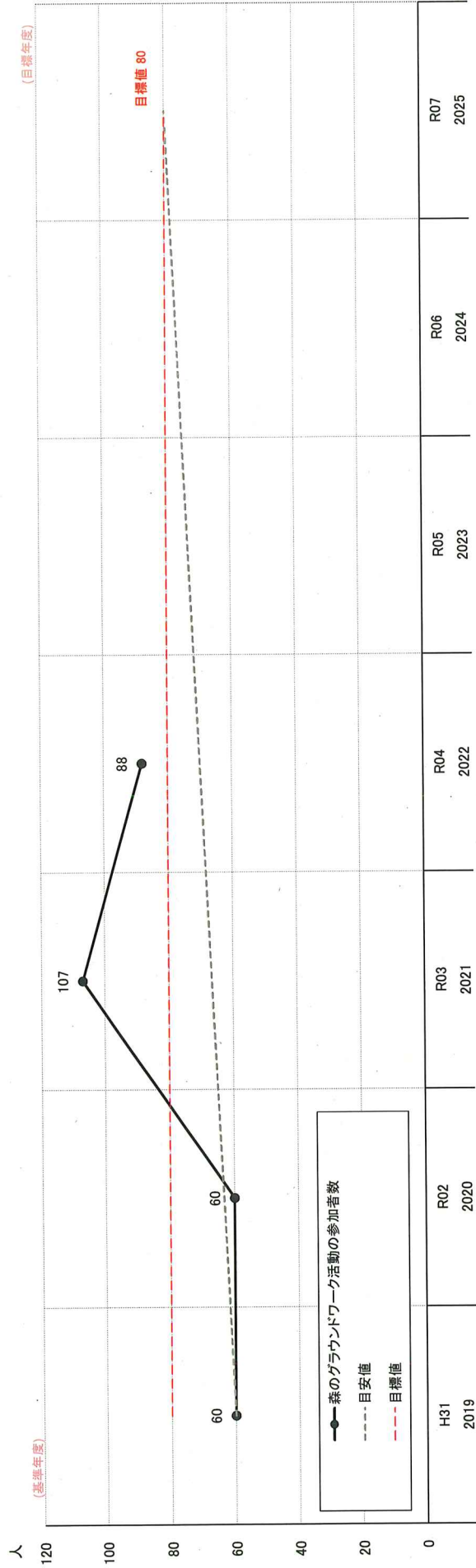
基準	目標
2019年度	2025年度
60人	80人

	入力箇所
	評価点

■森のグラウンドワーク活動の参加者数

森のグラウンドワーク活動の参加者数																
年度	基準年度			実績年度			※目標年度									
	2019 H31	2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07									
評価	-	△	◎	◎												
森のグラウンドワーク活動の参加者数	60	60	107	88												
目安値	60	63	67	70	73	77	80									
目標値	80	80	80	80	80	80	80									
森のグラウンドワーク活動の参加者数と目安値の比較	-	-3	40	18	-	-	-									-
評価点	-	0	10	10												

森のグラウンドワーク活動の参加者数



基本目標1：耕地面積

■基本条件

指標項目	
耕地面積	ha

基準		目標	
年度	ha	2020	2025
		1,040	1,060

	入力箇所
	評価点

年度	実績年度		※目標年度				
	2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	
評価	-						
耕地面積	1,040						
目安値	1,040	1,044	1,048	1,052	1,056	1,060	
目標値	1,060	1,060	1,060	1,060	1,060	1,060	
耕地面積と目安値の比較	-	-	-	-	-	-	-
評価点	-						

5年に一度の「農林業センサスデータ」から評価しているため、次回は令和7(2025)年度の結果になる。

耕地面積



基本目標1：自然保護活動に取り組む市民の割合

■基本条件

指標項目	
自然保護活動に取り組む市民の割合	%

基準	目標
年度	2025
%	2.3

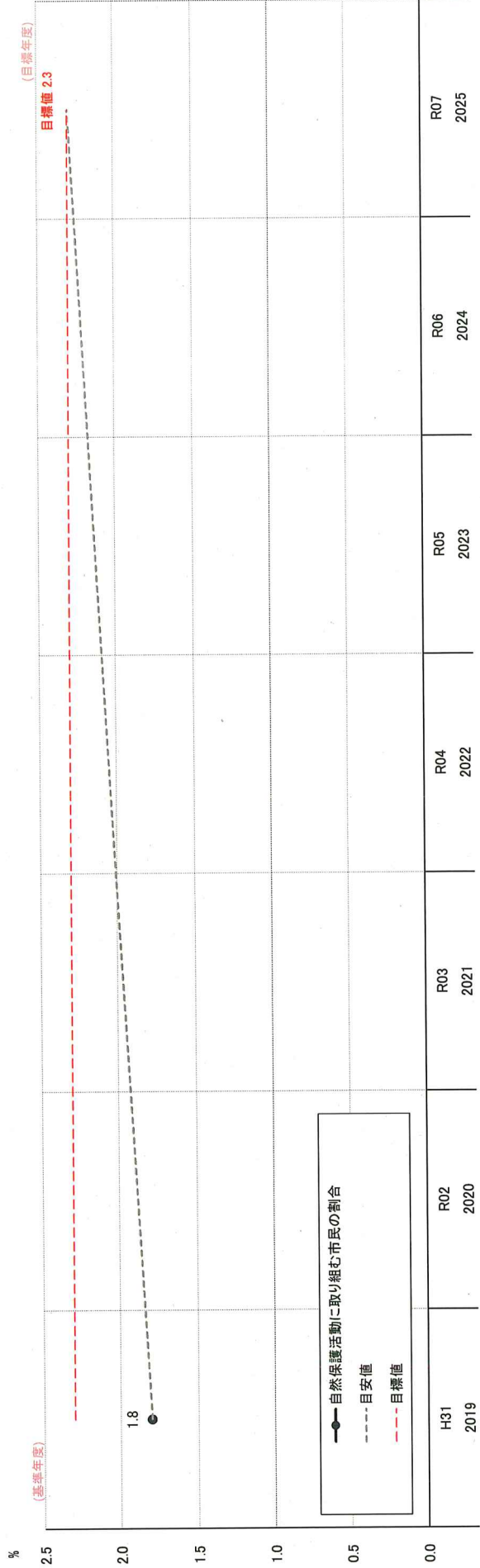
	入力箇所
	評価点

■自然保護活動に取り組む市民の割合

年度	評価	※目標年度						
		実施年度						
		2019 H31	2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07
自然保護活動に取り組む市民の割合	1.8							
自然保護活動に取り組む市民の割合	1.8	1.8	1.9	2.0	2.1	2.1	2.2	2.3
自然保護活動に取り組む市民の割合	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
自然保護活動に取り組む市民の割合と目安値の比較	-	-	-	-	-	-	-	-
評価点	-							

5年に一度の「住民意識調査」から評価しているため、次回は令和6(2024)年度の結果になる。

自然保護活動に取り組む市民の割合



基本目標1：市民1人当たり公園面積

■基本条件

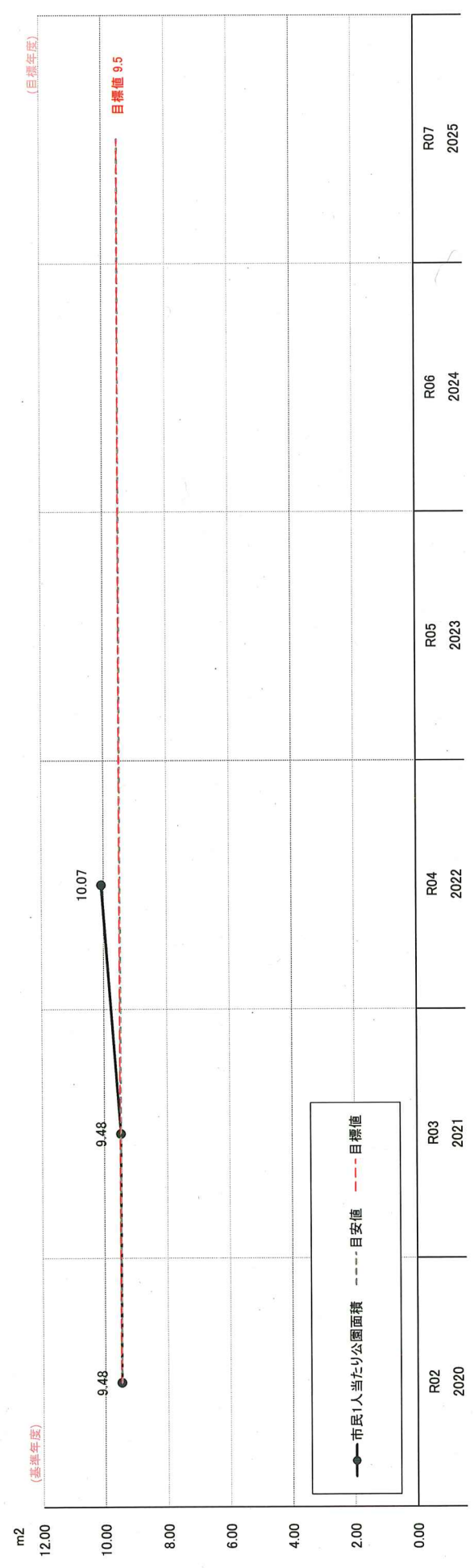
指標項目	
市民1人当たり公園面積	m2

基準	
年度	目標
m2	2020 9.48 2025 9.5

	入力箇所
	評価点

市民1人当たり公園面積		※目標年度						
年度	評価	基準年度 2020 R02	実績年度 2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	
市民1人当たり公園面積		9.48	9.48	10.07				
目安値		9.48	9.48	9.49	9.49	9.5	9.5	
目標値		9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	
市民1人当たり公園面積と目安値の比較		-	0.00	0.58	-	-	-	
評価点		-	0	10				

市民1人当たり公園面積



基本目標2：市内の温室効果ガス排出量（産業部門以外の総量）

■ 基本条件			
指標項目		基準	目標
市内の温室効果ガス排出量 (産業部門以外の総量)	年度	2013	2030
	t-CO2	283,737	152,039

市内の温室効果ガス排出量 (産業部門以外の総量)	年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030					
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12						
評価	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎															
市内の温室効果ガス排出量 (産業部門以外の総量)	283,737	234,000	235,000	229,000	237,000	227,000	220,000	217,000	環境省「自治体排出量カルテ」のデータのため、資料決定時点において、令和2(2020)年度時点の実績値で評価。															
目安値	283,737	275,990	268,243	260,496	252,749	245,002	237,255	229,508	221,761	214,015	206,268	198,521	190,774	183,027	175,280	167,533	159,786	152,039	152,039					
目標値	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039					
市内の温室効果ガス排出量 (産業部門以外の総量)と目安値の比較	-	41,990	33,243	31,496	15,749	18,002	17,255	12,508	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
評価点	-	10	10	10	10	10	10	10	10															

:入力箇所

:評価点

■ 市内の温室効果ガス排出量(産業部門以外の総量)											※目標年度											
年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030				
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12				
評価	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎														
市内の温室効果ガス排出量 (産業部門以外の総量)	283,737	234,000	235,000	229,000	237,000	227,000	220,000	217,000	環境省「自治体排出量カルテ」のデータのため、資料決定時点において、令和2(2020)年度時点の実績値で評価。													
目安値	283,737	275,990	268,243	260,496	252,749	245,002	237,255	229,508	221,761	214,015	206,268	198,521	190,774	183,027	175,280	167,533	159,786	152,039				
目標値	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039	152,039				
市内の温室効果ガス排出量 (産業部門以外の総量)と目安値の比較	-	41,990	33,243	31,496	15,749	18,002	17,255	12,508	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
評価点	-	10	10	10	10	10	10	10														

基本目標2：市内の温室効果ガス排出量（産業部門）

■基本条件

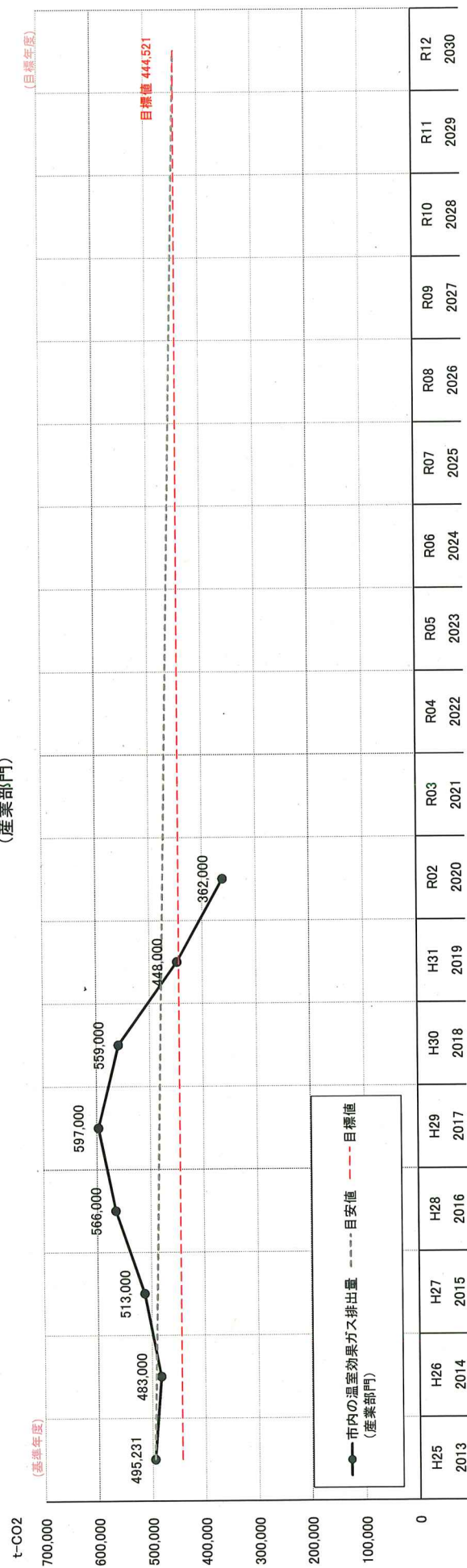
指標項目		基準		目標	
市内の温室効果ガス排出量 (産業部門)		年度	2013	2030	
t-CO2		t-CO2	495,231	444,521	

■市内の温室効果ガス排出量（産業部門）

市内の温室効果ガス排出量(産業部門)		基準年度		実績年度												※目標年度																				
		2013 H25	-	2014 H26	◎	△	△	2015 H27	△	2016 H28	△	2017 H29	△	2018 H30	△	2019 H31	◎	2020 R02	◎	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12							
	年度																																			
	評価																																			
市内の温室効果ガス排出量 (産業部門)		495,231		483,000		513,000		566,000		597,000		559,000		448,000		362,000		環境省「自治体排出量カルテ」のデータのため、資料策定時点において、令和2(2020)年度時点の実績値で評価。																		
目安値		495,231		492,248		489,285		486,282		483,299		480,316		477,333		474,350		471,367		468,385		465,402		462,419		459,436		456,453		453,470		450,487		447,504		444,521
目標値		444,521		444,521		444,521		444,521		444,521		444,521		444,521		444,521		444,521		444,521		444,521		444,521		444,521		444,521		444,521		444,521		444,521		444,521
市内の温室効果ガス排出量 (産業部門)と目安値の比較		-		9,248		-23,735		-79,718		-113,701		-78,684		29,333		112,350		-		-		-		-		-		-		-		-		-		
評価点		-		10		0		0		0		0		10		10																				

環境省「自治体排出量カルテ」の
データのため、資料決定時点において、
令和2(2020)年度時点の実績値で評価。

市内の温室効果ガス排出量
(産業部門)



基本目標2：市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合

■基本条件

指標項目	
市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合	%
基準	目標
2019	2030
0.5	7.0

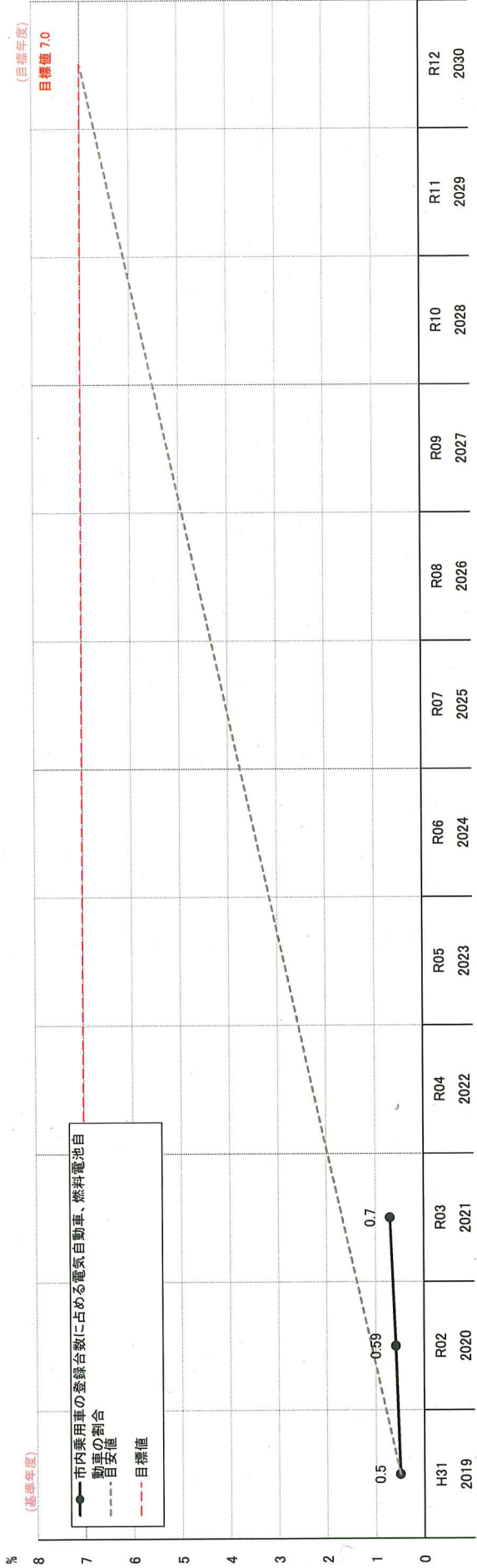
入力箇所
評価点

■市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合

年度		※目標年度											
2019		2020											
H31		R01											
評価		R02											
0.5		0.7											
市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合		R03											
目安値		7.0											
目標値		7.0											
市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合		R04											
0.5		0.7											
市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合		R05											
0.5		0.7											
市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合		R06											
0.5		0.7											
市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合		R07											
0.5		0.7											
市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合		R08											
0.5		0.7											
市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合		R09											
0.5		0.7											
市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合		R10											
0.5		0.7											
市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合		R11											
0.5		0.7											
市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合		R12											
0.5		0.7											

一般社団法人次世代自動車振興センター及び千葉県統計年鑑の公表データのため、資料決定時点において、令和3(2021)年度時点の実績値で評価。
R3時点累計:152台・R3乗用車数:21,133台

市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合



基本目標2：市内の再生可能エネルギー導入量

■基本条件

指標項目	
市内の再生可能エネルギー導入量	kW

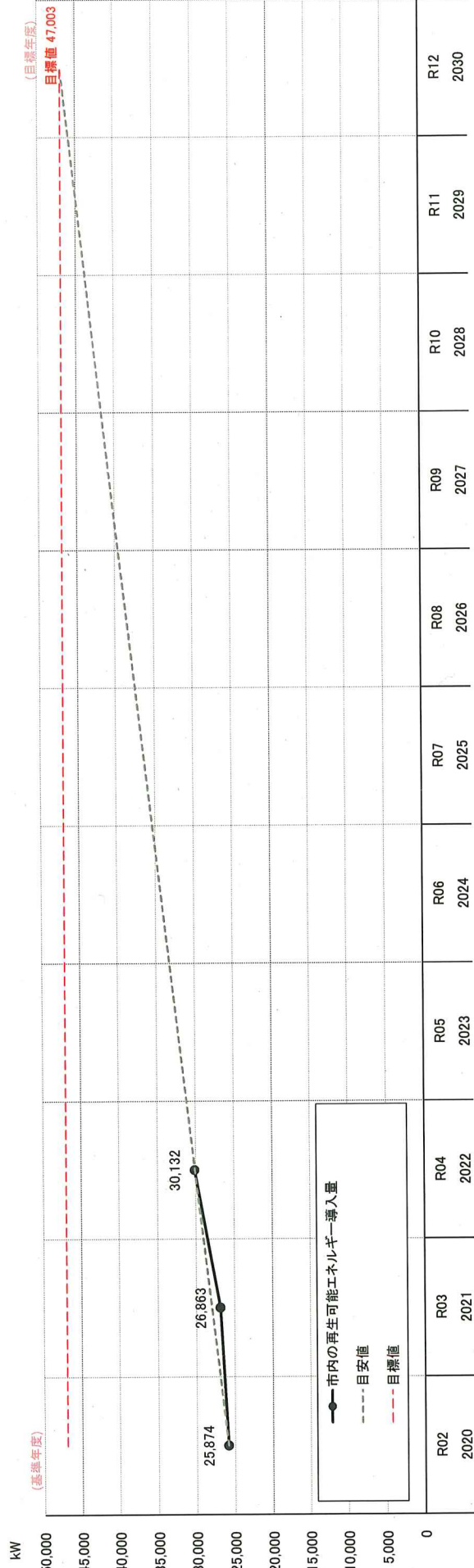
基準	
年度	目標
2020	2030
kW	kW
25,874	47,003

	入力箇所
	評価点

■市内の再生可能エネルギー導入量

市内の再生可能エネルギー導入量																							
年度	基準年度		実績年度		※目標年度																		
	2020 R02	-	2021 R03	△	2022 R04	○	2023 R05		2024 R06		2025 R07		2026 R08		2027 R09		2028 R10		2029 R11		2030 R12		
	評価																						
市内の再生可能エネルギー導入量		25,874	26,863	30,132																			
	目安値	25,874	27,987	30,100	32,213	34,326	36,439	38,551	40,664	42,777	44,890	47,003	49,116	51,229	53,342	55,455	57,568	59,680	61,793				
	目標値	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003	47,003			
市内の再生可能エネルギー導入量と目安値の比較		-	-1,124	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
評価点		-	0	5																			

市内の再生可能エネルギー導入量



基本目標2：気候変動のリスクに備えている人の割合

■基本条件

指標項目	目標
気候変動のリスクに備えている人の割合	73.3

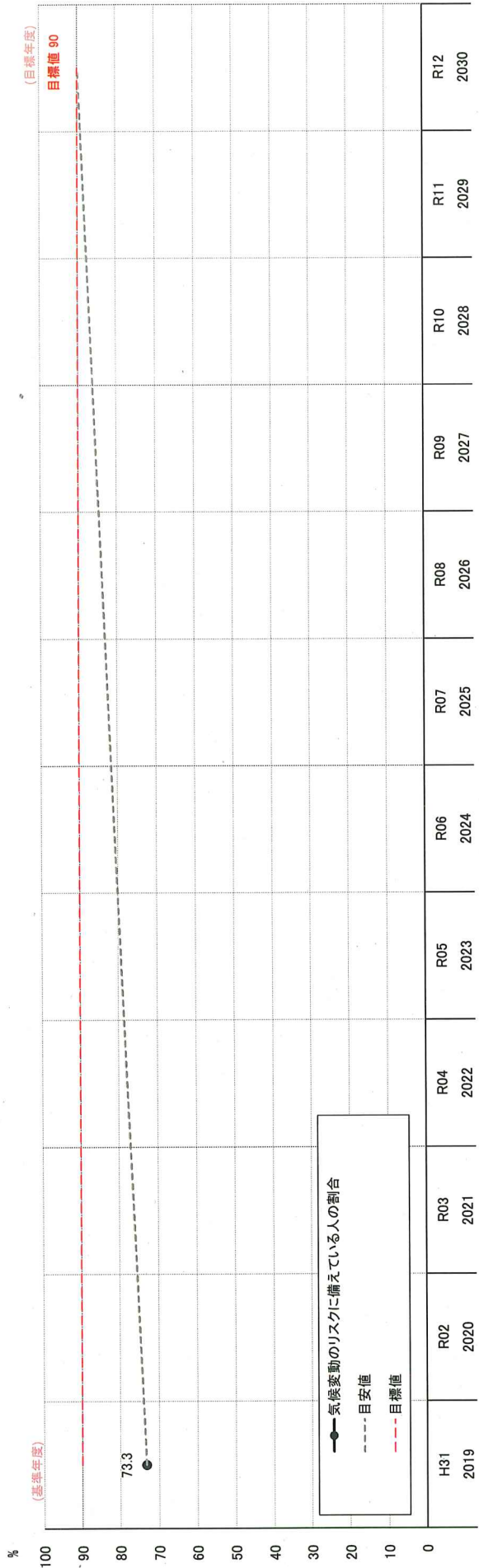
年度	目標
2019	73.3
2030	90

入力箇所	評価点

■気候変動のリスクに備えている人の割合

年度	評価	※目標年度											
		基準年度 2019 H31	実績年度 2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12
気候変動のリスクに備えている人の割合	73.3												
計画策定時の市民アンケート調査結果を基にしているため、 次回は第3次計画の中間見直し時(R7)となる。													
気候変動のリスクに備えている人の割合	73	73	75	76	78	79	81	82	84	85	87	88	90
目安値	目安値	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90
目標値	目標値												
気候変動のリスクに備えている人の割合と目安値の比較	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
評価点	評価点												

気候変動のリスクに備えている人の割合



基本目標3：大気環境（二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、ダイオキシン類）に関する環境基準の達成割合（%）

基本条件

指標項目	基準	目標
大気環境(二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、ダイオキシン類)に関する環境基準の達成割合(%)	75	100

年度

2020

2030

%

入力箇所

評価点

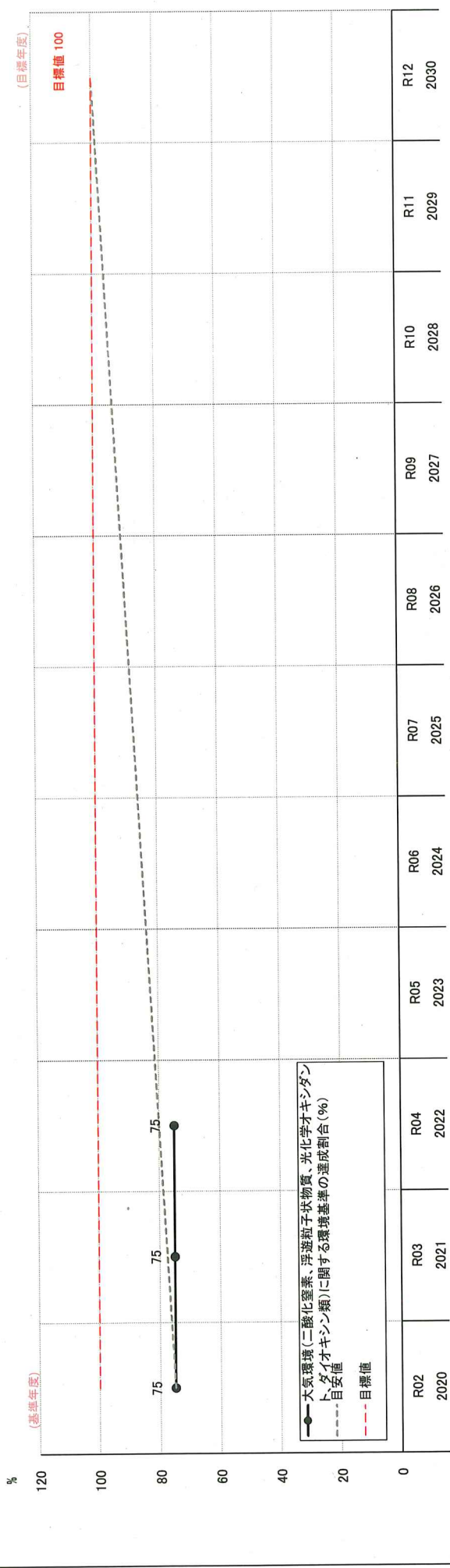
大気環境(二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、ダイオキシン類)に関する環境基準の達成割合(%)

※現状値より増加

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
評価	-	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
大気環境(二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、ダイオキシン類)に関する環境基準の達成割合(%)	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
目安値	75	78	80	83	85	88	90	93	95	98	100
目標値	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
大気環境(二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、ダイオキシン類)に関する環境基準の達成割合(%)と目安値の比較	-	-2.5	-5	-	-	-	-	-	-	-	-
評価点	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※目標年度

大気環境（二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、ダイオキシン類）に関する環境基準の達成割合（%）



基本目標3：水環境（神崎川、金山落、下手賀沼）に関する環境基準の達成割合（％）

■ 基本条件

指標項目		%
水環境(神崎川、金山落、下手賀沼)に関する環境基準の達成割合(%)		

年度	基準	目標
	2020	2030
%	67	100

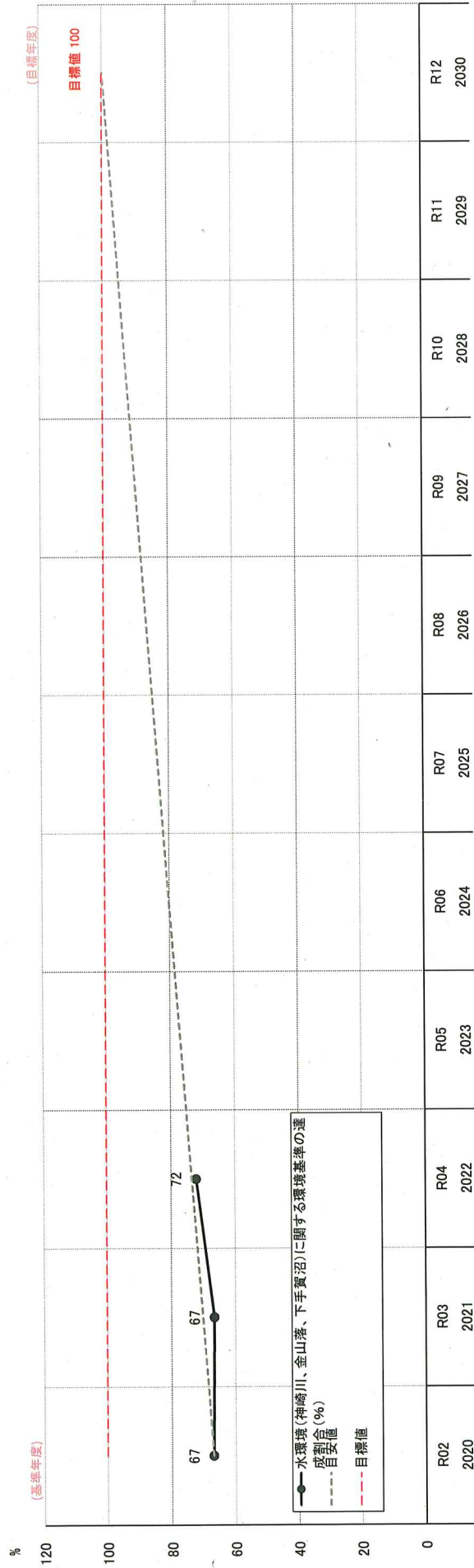
	入力箇所
	評価点

※現状値より増加

■水環境(神崎川、金山落、下手賀沼)に関する環境基準の達成割合(%)

[illegible]

水環境(神崎川、金山落、下手賀沼)に関する環境基準の達成割合(%)



基本目標3：騒音（航空機騒音）に関する環境基準の達成割合（％）

■基本条件

指標項目	
騒音（航空機騒音）に関する環境基準の達成割合（％）	％

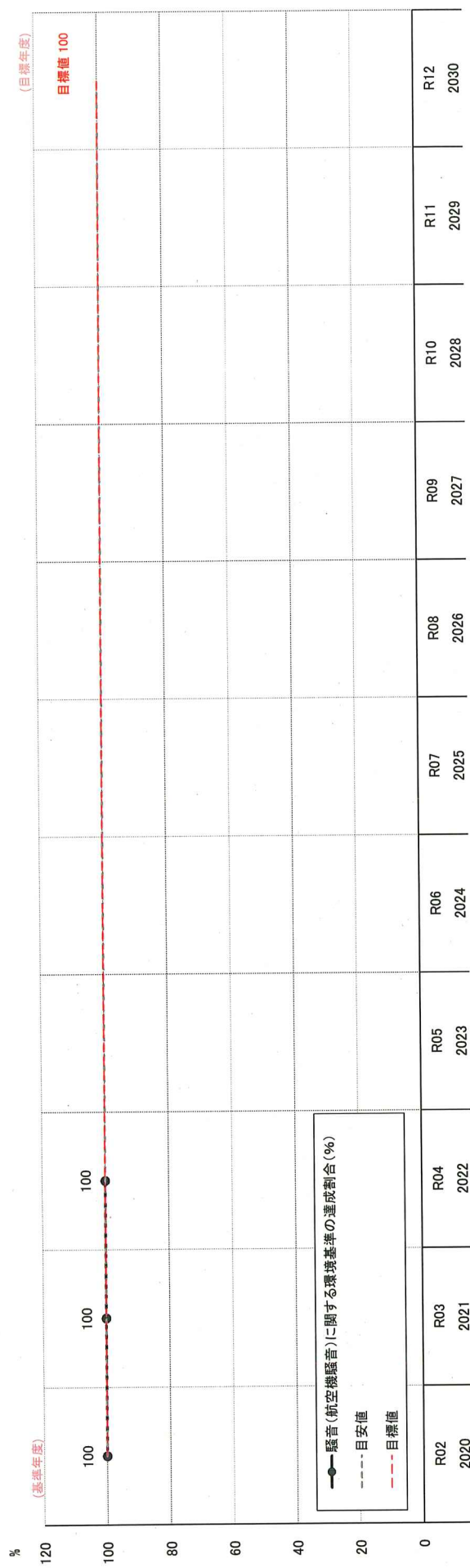
基準	目標
2020	100
2030	100

入力箇所
評価点

■騒音（航空機騒音）に関する環境基準の達成割合（％）

※目標年度																								
基準年度		実績年度																						
年度	基準年度	2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12												
	評価	-	○	○																				
騒音（航空機騒音）に関する環境基準の達成割合（％）	100	100	100	100	調査地点：富士地区消防小屋																			
	目安値	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100											
	目標値	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100											
騒音（航空機騒音）に関する環境基準の達成割合（％）と目安値の比較	-	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
	評価点	-	10	10																				

騒音（航空機騒音）に関する環境基準の達成割合（％）



基本目標3：国・県・市指定文化財合計数

■基本条件

指標項目	点
国・県・市指定文化財合計数	

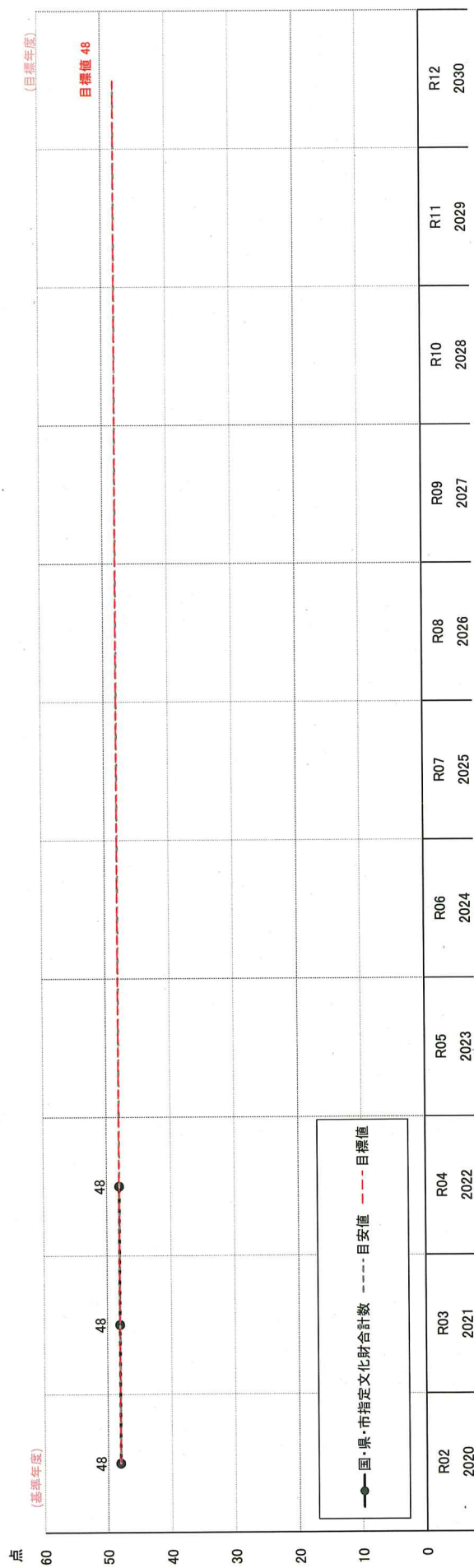
基準	目標
年度	2030
点	48

入力箇所
評価点

■国・県・市指定文化財合計数

国・県・市指定文化財合計数																							
年度	基準年度		実績年度		※目標年度																		
	2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12												
評価	-	◎	◎																				
国・県・市指定文化財合計数	48	48	48																				
目安値	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48												
目標値	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48												
国・県・市指定文化財合計数と目安値の比較	-	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-												
評価点	-	10	10																				

国・県・市指定文化財合計数



基本目標3：不法投棄された可燃・不燃・粗大ごみの重量

■基本条件

指標項目	t
不法投棄された可燃・不燃・粗大ごみの重量	t

基準	目標
年度 t	2030 5

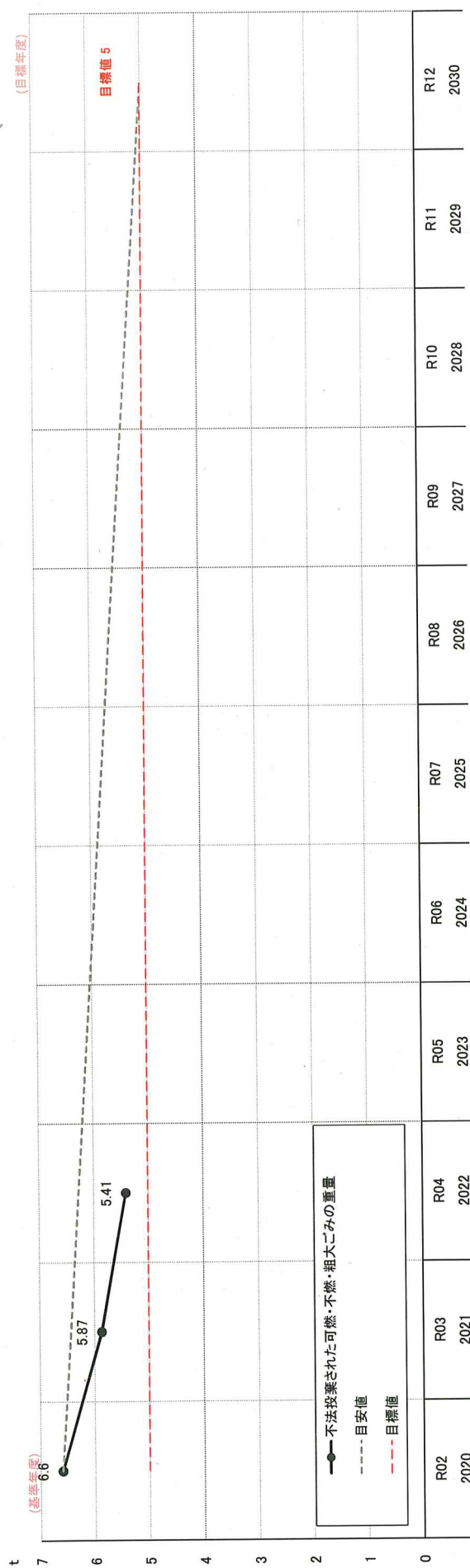
入力箇所
評価点

※現状値より減少

■不法投棄された可燃・不燃・粗大ごみの重量

年度	評価点	実績年度												※目標年度			
		2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2030 R12	2029 R11	2028 R10	2027 R09	2026 R08
不法投棄された可燃・不燃・粗大ごみの重量	評価	6.6	5.87	5.41													
不法投棄された可燃・不燃・粗大ごみの重量	目安値	6.6	6.4	6.3	6.1	6.0	5.8	5.6	5.5	5.3	5.2	5.0	5.0	5.2	5.3	5.5	5.6
不法投棄された可燃・不燃・粗大ごみの重量	目標値	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
不法投棄された可燃・不燃・粗大ごみの重量と目安値の比較		-	0.57	0.87	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
評価点		-	10	10													

不法投棄された可燃・不燃・粗大ごみの重量



基本目標3：ごみゼロ運動の参加者数（累計）

■基本条件

指標項目	人
ごみゼロ運動の参加者数(累計)	

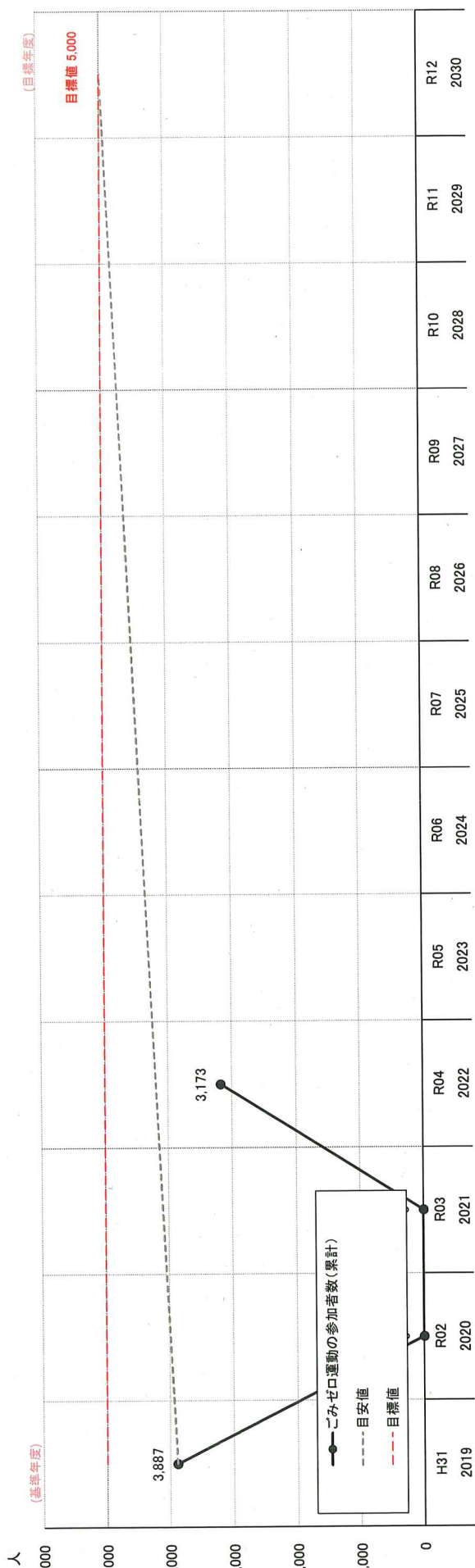
基準	目標
2019 人	3,887
2030	5,000

	人
	評価点

■ごみゼロ運動の参加者数(累計)

ごみゼロ運動の参加者数(累計)																	
年度	基準年度		実績年度		※目標年度												
	2019 H31		2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12				
	評価	-	△	△	△												
ごみゼロ運動の参加者数(累計)		3,887	0	0	3,173												
	目安値	3,887	3,988	4,089	4,191	4,292	4,393	4,494	4,595	4,696	4,798	4,899	5,000				
	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000				
ごみゼロ運動の参加者数(累計)と目安値の比較		コロナ禍のため、R2・R3は未実施															
					-1,018												
	評価点	-	0	0	0												

ごみゼロ運動の参加者数(累計)



基本目標4：家庭系一般廃棄物の一日当たり排出量

■基本条件

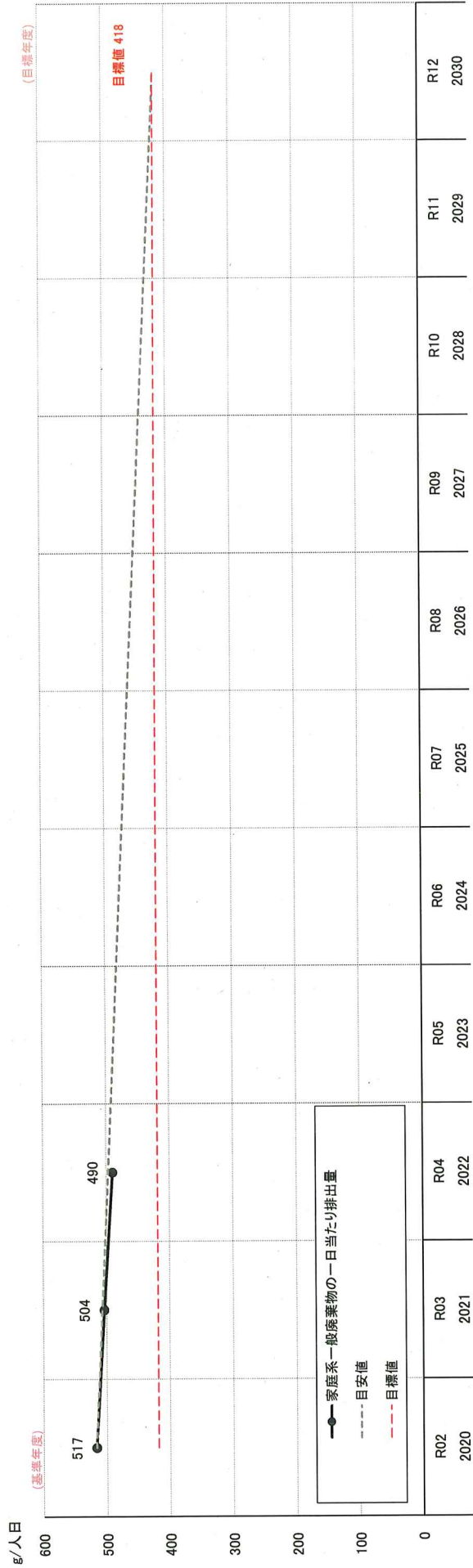
指標項目	g/人日	基準	目標
家庭系一般廃棄物の一日当たり排出量	g/人日	2020 517	2030 418

	入力箇所
	評価点

■家庭系一般廃棄物の一日当たり排出量

年度	評価	※目標年度											
		基準年度 2020 R02	実績年度 2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	
家庭系一般廃棄物の一日当たり排出量		517	504	490									
目安値		517	507	497	487	477	468	458	448	438	428	418	
目標値		418	418	418	418	418	418	418	418	418	418	418	
家庭系一般廃棄物の一日当たり排出量と目安値の比較		-	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-	
評価点		-	10	10									

家庭系一般廃棄物の一日当たり排出量



基本目標4：一般廃棄物の資源化率

■基本条件

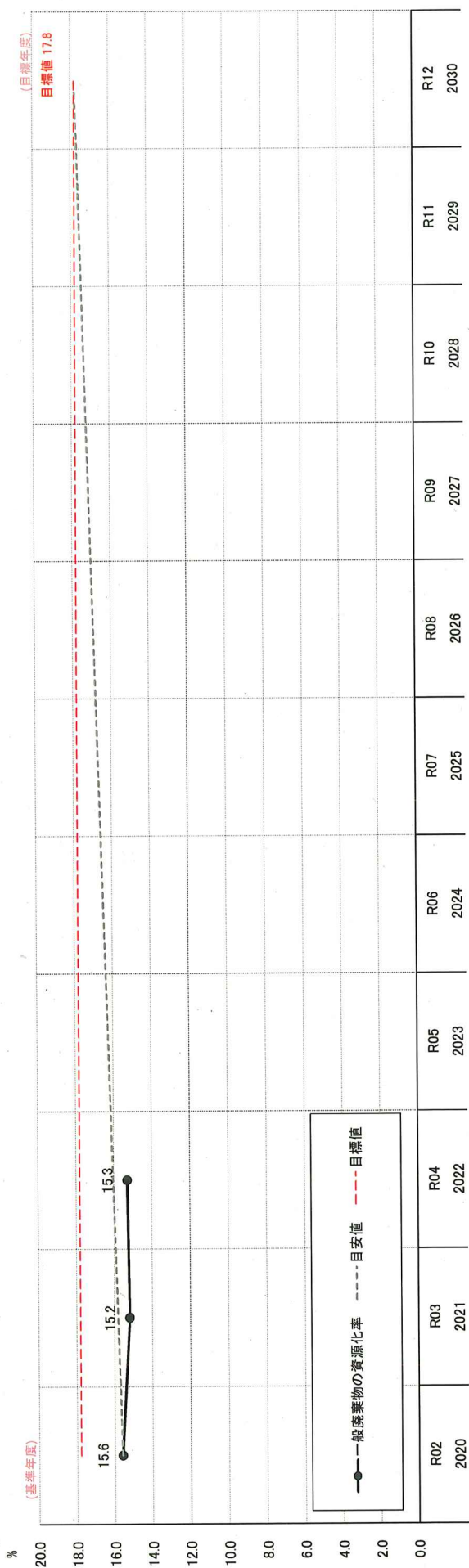
指標項目	
一般廃棄物の資源化率	%

基準		目標
年度	2020	2030
%	15.6	17.8

	入力箇所
	評価点

年度		※目標年度											
		2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	
評価		-	△	△									
一般廃棄物の資源化率		15.6	15.2	15.3									
目安値		15.6	15.8	16.0	16.3	16.5	16.7	16.9	17.1	17.4	17.6	17.8	
目標値		17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	
一般廃棄物の資源化率と目安値の比較		-	-0.62	-0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	
評価点		-	0	0									

一般廃棄物の資源化率



基本目標5：市の環境関連イベント・講座等への年間延べ参加・受講者数

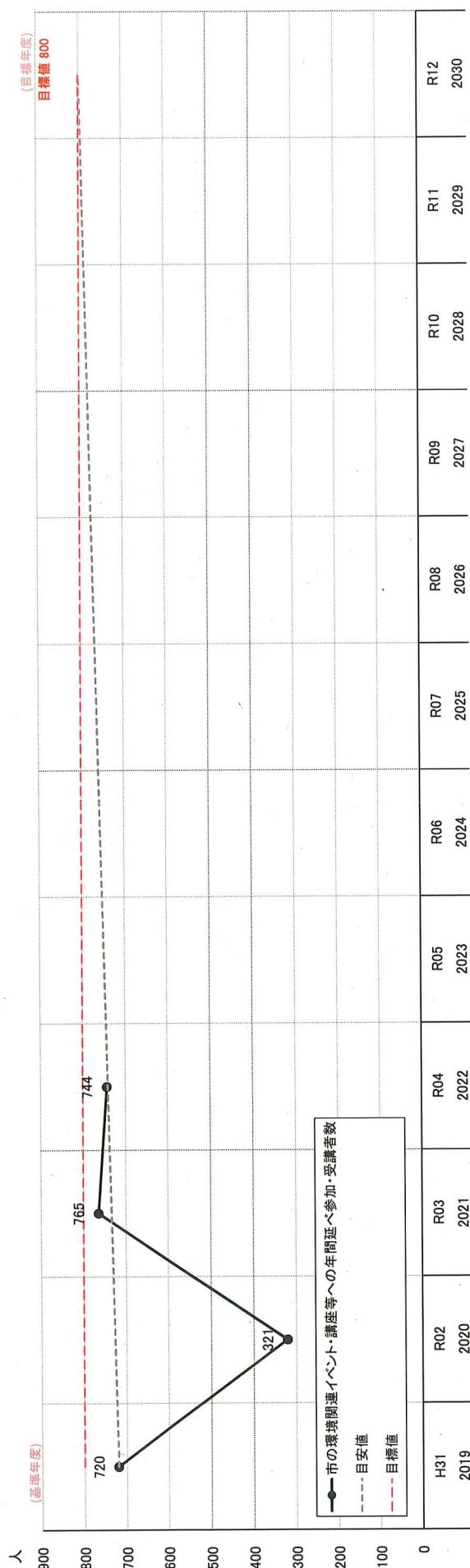
■基本条件

指標項目		基準	目標
市の環境関連イベント・講座等への年間延べ参加・受講者数	年度	2019	2030
	人	720	800

	：入力箇所
	：評価点

年度	基準年度		※目標年度											
	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030		
	H31	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12		
市の環境関連イベント・講座等への年間延べ参加・受講者数	720	321	765	744										
評価	-	△	◎	◎										
目安値	720	727	735	742	749	756	764	771	778	785	793	800	807	815
目標値	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800
市の環境関連イベント・講座等への年間延べ参加・受講者数と目安値の比較	-	-406	30	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
評価点	-	0	10	10										

市の環境関連イベント・講座等への年間延べ参加・受講者数



基本目標5：市内の環境関係活動団体数

■基本条件

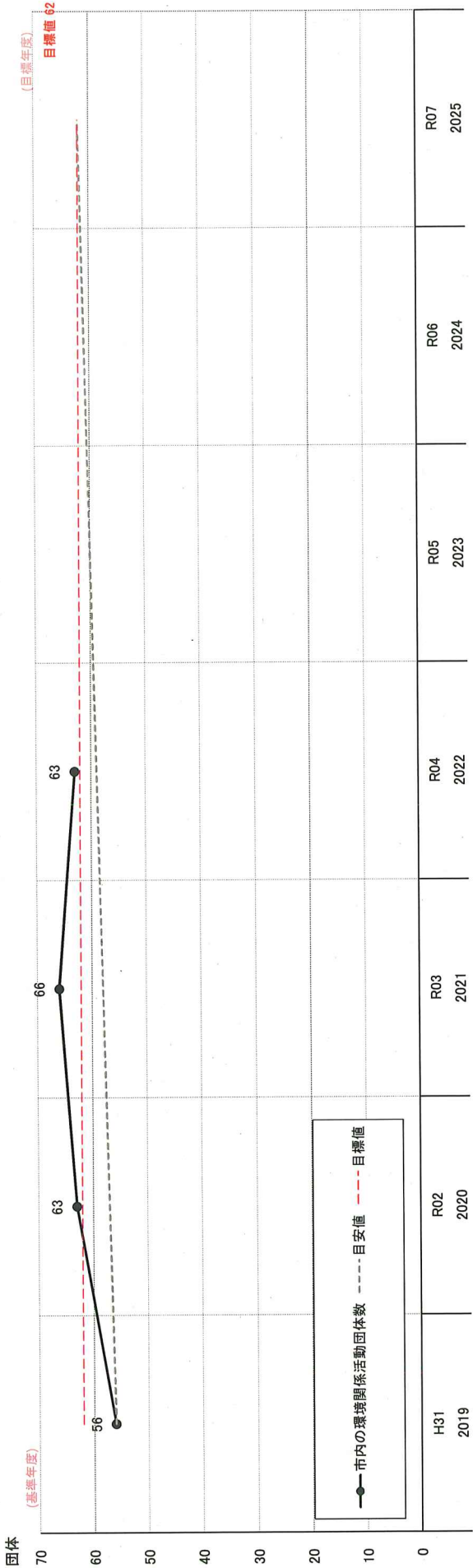
指標項目	
市内の環境関係活動団体数	団体

基準	
年度	目標
2019 団体	2025 62

	：入力箇所
	：評価点

市内の環境関係活動団体数		※目標年度						
年度	評価	基準年度 2019 H31	実績年度 2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07
市内の環境関係活動団体数		56	63	66	63			
目安値		56	57	58	59	60	61	62
目標値		62	62	62	62	62	62	62
市内の環境関係活動団体数と目安値の比較		-	6	8	4	-	-	-
評価点		-	10	10	10			

市内の環境関係活動団体数



基本目標5：市民団体との協働による環境保全活動数

■基本条件

指標項目	
市民団体との協働による環境保全活動数	回

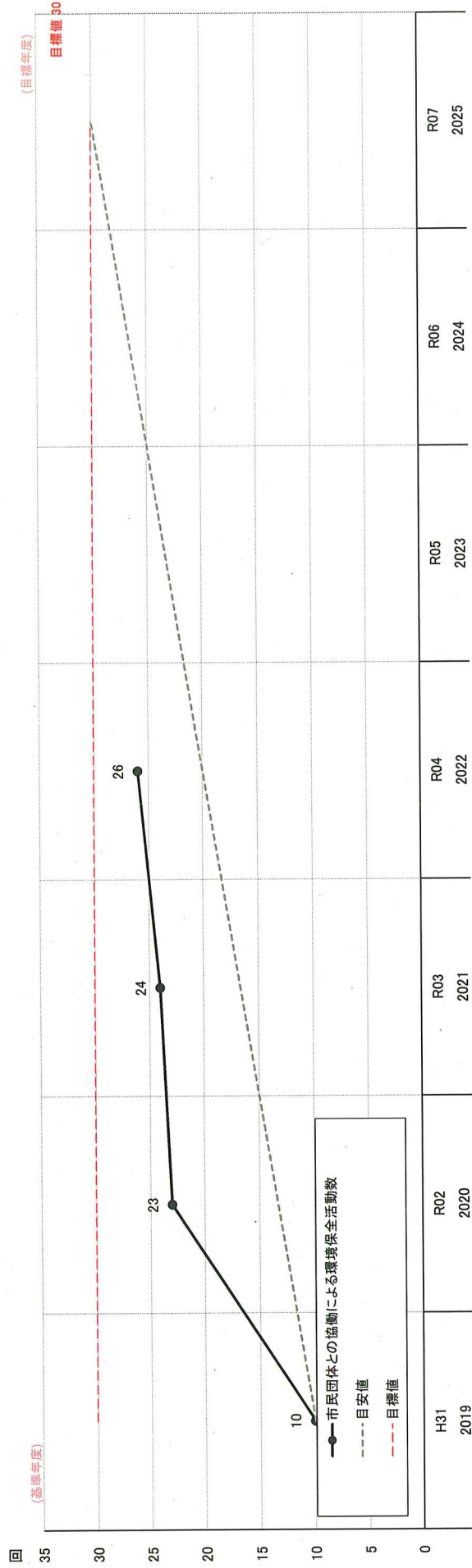
基準	目標	
	2019年度	2025年度
回数	10	30

	入力箇所
	評価点

■市民団体との協働による環境保全活動数

年度	実績年度		※目標年度						
	2019年度 H31	2020年度 R02	2021年度 R03	2022年度 R04	2023年度 R05	2024年度 R06	2025年度 R07		
評価	-	◎	◎	◎					
市民団体との協働による環境保全活動数	10	23	24	26					
目安値	10	13	17	20	23	27	30	33	37
目標値	30	30	30	30	30	30	30	30	30
市民団体との協働による環境保全活動数と目安値の比較	-	10	7	6	-	-	-	-	-
評価点	-	10	10	10					

市民団体との協働による環境保全活動数



白井市第3次環境基本計画 総合評価(令和4年度)

評価◎=A 評価○=B 評価△=C

環境分野	指標項目	実績	目安値(評価時)	目標値	評価	1 自然環境	総合評価
1 自然環境	森のグラウンドワーク活動の参加者数	88	70	80	A	A	
	耕地面積	-	-	-	-		
	自然保護活動に取り組む市民の割合	-	-	-	-		
	市民1人当たり公園面積	10.07	9.49	9.5	A		

【考察】

・森のグラウンドワーク活動の参加者数を増やしていくため、他の団体や民間企業等との多角的な取り組みを検討する。

環境分野	指標項目	実績	目安値(評価時)	目標値	評価	2 地球環境	総合評価
2 地球環境	市内の温室効果ガス排出量(産業部門以外の総量)	217,000	229,508	152,039	A	B	
	市内の温室効果ガス排出量(産業部門)	362,000	474,350	444,521	A		
	市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合	0.7	1.7	7.0	C		
	市内の再生可能エネルギー導入量	30,132	30,100	47,003	B		
	気候変動のリスクに備えている人の割合	-	-	-	-		

【考察】

・区域の脱炭素化を進めていくため、事業者等と連携を図る。
・電気自動車の導入を推進するため、省エネルギー補助金の普及啓発を進める。

環境分野	指標項目	実績	目安値(評価時)	目標値	評価	3生活環境 総合評価
3 生活環境	大気環境(二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、ダイオキシン類)に関する環境基準の達成割合(%)	75	80	100	C	
	水環境(神崎川、金山落、下手賀沼)に関する環境基準の達成割合(%)	72	74	100	C	
	騒音(航空機騒音)に関する環境基準の達成割合(%)	100	100	100	A	B
	国・県・市指定文化財合計数	48	48	48	A	
	不法投棄された可燃・不燃・粗大ごみの重量	5.41	6.3	5	A	
	ごみゼロ運動の参加者数(累計)	3,173	4,191	5,000	C	

【考察】

- ・河川等の水質改善のため、千葉県や市民団体と連携を図りながら、普及啓発活動や清掃活動を実施する。
- ・ごみゼロ運動の参加者数を増やすため、地域に関わりのある自治会やまちづくり協議会、若い世代に周知を図る。

環境分野	指標項目	実績	目安値(評価時)	目標値	評価	4資源循環 総合評価
4 資源循環	家庭系一般廃棄物の一日当たり排出量	490	497	418	A	B
	一般廃棄物の資源化率	15.3	16.0	17.8	C	

【考察】

- ・なるほど行政講座等を通して、市民へ3Rの周知啓発を図る。

環境分野	指標項目	実績	目安値(評価時)	目標値	評価	5環境保全 総合評価
5 環境保全	市の環境関連イベント・講座等への年間延べ参加・受講者数	744	742	800	A	A
	市内の環境関係活動団体数	63	59	62	A	
	市民団体との協働による環境保全活動数	26	20	30	A	

【考察】

- ・子どもから大人まで幅広い世代に環境保全活動や環境学習イベントに参加してもらえよう、市民団体等と協働で参加しやすいイベント等を実施する。